

ワンポイント事例



1 人の話を聞くことが苦手

学校生活の様子

人の話を聞くのが苦手なYさんは、いつも周りを見て、友達に合わせて行動しています。簡単な指示は理解することができますが、「服を着替えたら、帽子をかぶって、運動場に集まりましょう。」のような複雑な指示は理解できません。

実態把握

指示内容が複数になると、少しの間であっても聞いたことを覚えておくことが難しい。

周りの音が気になって、必要な話を聞き分けることがうまくできない。

聞いただけで、話の内容をイメージしたり、理解したりすることが不十分である。

考えられる支援の手立て

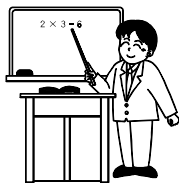
◇必要な情報を短い言葉で端的に伝える。
◇具体物を提示したり、黒板に書いて説明したりする。



◇座席を最前列にする。
◇話の前にゲームなどをし、興味をひきつけてから話をする。
◇見て分かるように、図や絵などを利用する。
◇聞き取りやすい発音に努める。
◇声かけをしたり、視線を向けたりして、注意を引きながら話す。

◇ていねいな言葉がけをする。
◇言葉の意味を図や絵を使って説明する。
◇興味が持てる課題を設定する。
◇黒板に順をおって指示内容を書く。

その他の支援のポイント



○「これ」、「そこ」、「あちら」、「どれ」のような言葉だけではなく、具体的に示す。
○教室前面にたくさんの掲示物を張らないようにしたり、学習道具等をもいつも整理しておくようにしたりするなど、環境づくりに気を付ける。
○話した内容が理解できているのかを、声かけや挙手などで確かめる。
○必要な情報は、「短く、はっきり、ゆっくり」話すようにする。
○複数の指示をする場合は、一つの指示ができたことを確かめて、次の指示を出すようにする。

【個別の支援の方法】

- 実際の学習となるように、日常生活に沿った場面を取り上げたり、活動や体験を取り入れたりする。
- 指示の内容（何をすればよいのか）を考える習慣が身に付くように支援を繰り返す。
- 指示の内容が分からないときや、指示されたことがうまくできなくて困っているときなどに、「分かりません。もう一度教えてください。」など、自分から助けを求める習慣が身に付くように支援を継続する。
- 指示が分からなくて失敗経験につながる体験を意図的に仕組んだり、逆に指示通りに行動し、ほめられる経験を多く仕組む。